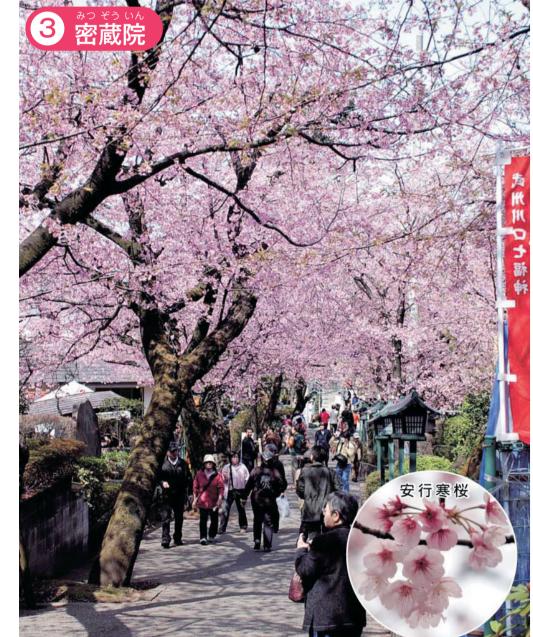
伝統ある植木の里川口安行



安行の地名の由来となった中田安斉入道安行(やすゆき=あんぎょう)が1496年に開基。寺内の開祖「吉田権之丞」の墓をはじめ、伊奈家の重臣新井氏、中江氏、遠山氏の墓がある。また、て左手には川口市の保存樹木に指定されている、樹齢400~500年のキャラボクの大木、参道の







密蔵院の隣に位置し、斜面林と低地を合わせて約1.7へクタールの広々とした緑地帯。敷地内は散策道が整備され、四季折々の植物が植えられている。特に4月中旬のヤマブキは見頃。



夏目漱石の句碑まで300m

▼国道4号線まで1,600m

安行原蛇造りまで100m ▲

現在地

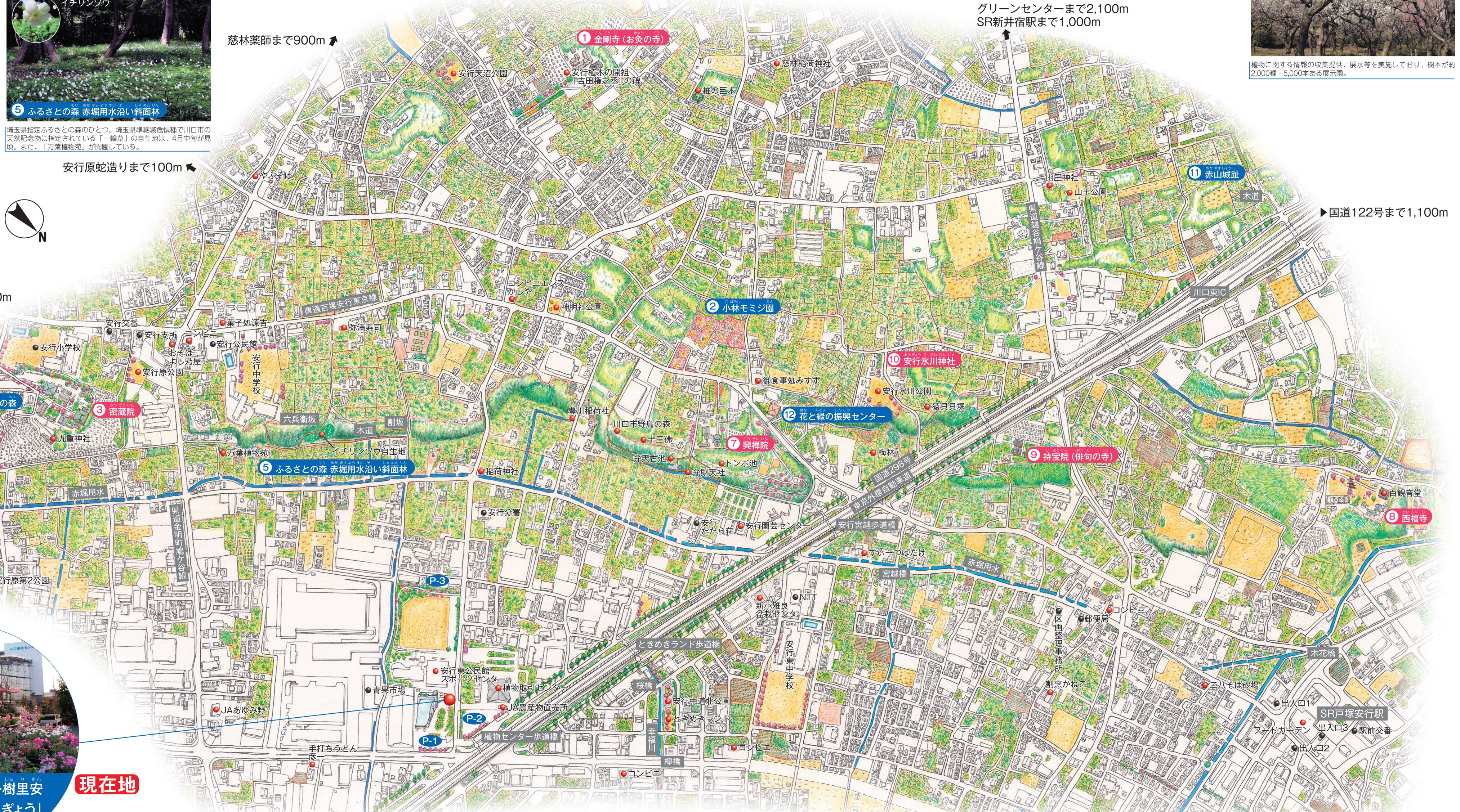


峯ヶ岡八幡神社まで800m





川口緑化センター樹里安 道の駅「川口・あんぎょう」 PM SR戸塚安行駅出入口1 から徒歩約20分





空堀が復元され、碑が立ち、整備された遊歩道沿いには美しい竹林や植木畑を並ぶ。



安行に住む人達の守神(鎮守)。近くに猿貝貝塚がある。







曹洞宗の寺院で天文15年(1546年)に創建された。本尊は釈迦如来座像(川口市指定文化財)で平安後期の僧、恵心の作である。花の寺としても知られ、特に初夏は紫陽花が咲き乱れ、秋の彼岸には、十三佛周辺に曼珠沙華が咲き誇り、12月上旬は興禅院の山全体が紅葉色に染まり大変美しい。



伝右川桜並木まで500m

●長蔵一丁目公園